

科目名		臨床栄養学Ⅰ	教員名	池本真二	学科等	保健栄養	必修	履修年次	2
(科目番号)		(時間割参照)			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	2
					授業形態	講義	オフィスアワー	D312研究室に掲示	
授業概要		傷病者に対して、治療の一環としての適切な栄養管理を行うために必要な、基本的な知識とスキルについて学ぶ。 臨床栄養学Ⅰは、臨床栄養学の総論と位置づけ、臨床栄養学の基礎として医療制度、チーム医療、栄養ケア・マネジメント(栄養ケア・プロセスの考え方)、傷病者のアセスメント、栄養ケアの記録、薬との相互作用などについて学ぶ。							
目的・目標		目的：医療や福祉・介護分野における管理栄養士の役割を理解するとともに、日常業務において必要とされる 傷病者を中心とした栄養スクリーニング、栄養アセスメント、栄養ケアの計画の作成・実施、記録など栄養ケア・マネジメントに関する知識を習得する。 目標： ①栄養アセスメントの意義や検査値の意味が理解できる。 ②栄養必要量の算出、栄養補給法の選択、各栄養補給方法の目的や疾患適応について理解できる。 ③「臨床栄養学Ⅱ」「臨床栄養教育論」並びに「臨床栄養学実習Ⅱ」で求められる症例の理解や栄養食事指導に必要な知識を習得する。							
準備学習		毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授 業 計 画	回	授業項目	到達目標・学習内容						
	1	医療と臨床栄養 医療機関における栄養部門の役割（管理栄養士の役割）	到達目標：病気の予防、治療における食事療法や栄養療法の意義と目的が説明できる。 学習内容：チーム医療の担い手として必要な臨床栄養学の基本的な考え方を学ぶ。						
	2	医療保険制度の基本 診療報酬について	到達目標：医療制度の基本並びに、栄養管理に関する算定(診療報酬)の基本について説明できる。 学習内容：医療制度の基本並びに、栄養管理に関する算定(診療報酬)の基本について学ぶ。						
	3	介護保険制度の基本 介護報酬について	到達目標：介護制度の基本並びに、栄養管理に関する算定(介護報酬)の基本について説明できる。 学習内容：介護制度の基本並びに、栄養管理に関する算定(介護報酬)の基本について学ぶ。						
	4	栄養ケア・マネジメントの概要 国際標準のNCPと栄養診断	到達目標：医療における栄養ケア・マネジメントの意義が説明できる。 学習内容：国際標準とされる栄養ケア・プロセスの考え方を学ぶ。						
	5	栄養アセスメント① 栄養アセスメントのABCD、身体計測	到達目標：栄養アセスメントの意義と目的並びに、方法(アセスメントのABCD、A:身体計測)を説明できる。 学習内容：栄養アセスメントの意義と目的並びに、方法(アセスメントのABCD、A:身体計測)について学ぶ。						
	6	栄養アセスメント② 臨床検査	到達目標：栄養アセスメントの方法(B:臨床検査)について説明できる。 学習内容：栄養アセスメントの方法(B:臨床検査)についてを学ぶ。						
	7	栄養アセスメント③ 臨床診査	到達目標：栄養アセスメントの方法(C:臨床診査)について説明できる。 学習内容：栄養アセスメントの方法(C:臨床診査)についてを学ぶ。						
	8	栄養アセスメント④ 食事調査（栄養摂取状況、食知識・食行動）	到達目標：栄養アセスメントの方法(D:食事調査)について説明できる。 学習内容：栄養アセスメントの方法(D:食事調査)についてを学ぶ。						
	9	栄養状態の評価判定（栄養診断）	到達目標：栄養状態の評価判定(栄養診断)について説明できる。 学習内容：栄養状態の評価判定(栄養診断)についてを学ぶ。						
	10	栄養介入（栄養ケア計画の作成、栄養必要量の算出の考え方）	到達目標：栄養状態の評価判定(栄養診断)に基づく栄養介入計画の作成(栄養栄養量の算出等)について説明できる。 学習内容：栄養状態の評価判定(栄養診断)に基づく栄養介入計画の作成(栄養栄養量の算出等)を学ぶ。						
	11	栄養補給法① 栄養補給法の選択、経口栄養法	到達目標：病院食(栄養補給法、主に経口栄養法)の種類と補給法の選択(決定)の考え方を説明できる。 学習内容：病院食(栄養補給法、主に経口栄養法)の種類と補給法の選択(決定)の考え方を学ぶ。						
	12	栄養補給法② 栄養補給法の選択、経腸・経静脈栄養法	到達目標：強制栄養法(経腸・経静脈栄養法)の特徴と補給法の選択(決定)の考え方を説明できる。 学習内容：強制栄養法(経腸・経静脈栄養法)の特徴と補給法の選択(決定)の考え方を学ぶ。						
	13	傷病者の栄養教育 栄養状態のモニタリングと評価	到達目標：患者教育と栄養ケアのモニタリングと評価に関する基本的な考え方を説明できる。 学習内容：患者教育と栄養ケアのモニタリングと評価に関する基本的な考え方を学ぶ。						
	14	栄養ケアの記録（問題志向型システム：POS、問題志向型診療録：POMR）	到達目標：栄養ケアの記録の意義、POSの理念と構造、POMRを説明できる。 学習内容：栄養ケアの記録の意義、POSの理念と構造、POMR等を学ぶ。						
15	栄養ケア・マネジメントの実践（総合演習：復習）	到達目標：栄養アセスメントから栄養ケアプラン作成のプロセスを実施できる。 学習内容：栄養アセスメントから栄養ケアプラン作成の実践について復習する。							
成績評価の方法・基準		振り返りテスト(30%)、期末試験(70%)を総合的に判断して評価。 (対面・オンライン共通)							
教科書		健康・栄養科学シリーズ 臨床栄養学 改定第4版	中村丁次/川島由紀子/外山健二 編集			株式会社 南江堂			
参考図書		病気がみえるシリーズ	医療情報科学研究所			メディックメディア			
教員からのメッセージ		臨床場面で実践されている栄養ケアマネジメント、すなわち臨床栄養学Ⅱ並びに臨床栄養教育論で学ぶ疾患・病態別栄養管理の基礎知識となるので、しっかりと学んでおきましょう。 必要に応じて、授業内容や講義順を変更する場合がありますが、その際は事前にお知らせします。また、オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。							